

小豆新品種「十育 170 号」栽培試験（2 年目）

1. 目的

帯広市地域における小豆新品種「十育 170 号」の品種特性や栽培適性について、検証及び普及啓蒙を図る。

2. 実施場所

帯広市川西町 帯広市農業技術センターほ場

3. 栽培方法

(1) 品種 : 「十育 170 号」

(2) 面積および区制

畦幅 70cm×4 畦×18m、1 区面積 50 m²

(3) 耕種等概要

土壌区分	土性	前作	栽植密度	栽培方法
沖積土	壤土	小麦	70cm×20cm	露地

(4) 施肥・防除

土改資材 (kg/10a)	施肥量(kg/10a)						防除回数	
	施肥時期	肥料名	窒素	リン酸	加里	苦土	病害	虫害
炭カル 60kg	基肥 5/20	豆用 2 号 100kg	4.5	21.0	10.0	4.5	3	3

4. 試験結果

(1) 生育概況

播種は 5 月 18 日に行った。出芽期は 6 月 1 日、出芽揃いは一部欠株が見られたので 6 月 7 日に補植を行った。6 月中旬以降、多雨、日照不足の天候が続いたが、高温に経過したため生育は順調に進み、開花期は 7 月 19 日で前年より 10 日早かった。その後も高温傾向が続き、生育・登熟は順調に進み、成熟期は 9 月 8 日と早かった。高温・多雨により茎長は 84.5cm と徒長気味になり、倒伏の発生がやや多かった。

病害虫の発生はアブラムシの発生がやや多かったが、菌核病、灰色かび病の発生は少なく、落葉病、茎疫病、萎凋病はみられなかった。

(2) 十育 170 号の収量性

10a 当たり製品収量は 295kg と高く、百粒重は 21.6g とかなり大きかった。子実は粒形が大きく、粒揃いや色合いも良く、品質が良かった。

参考：生育調査・収量調査等のデータ

① 生育及び作業ステージ

品種	播種月日	出芽期	開花始	開花期	成熟期	収穫月日
十育 170 号	5/18	6/1	7/17	7/19	9/8	9/9
参考：前年 170 号	5/20	6/5	7/27	7/29	9/18	9/27
参考：作況平年値 (きたろまん)	5/18	5/31	7/21	7/23	9/15	

② 生育調査

品種	7月28日調査		9月8日調査		
	茎長 (cm)	葉数 (枚)	茎長(cm)	莢数 (個/1株)	莢数 (個/1㎡)
十育 170 号	51.2	10.0	84.5	59.4	424.8
参考：前年 170 号	35.3	9.5	72.2	50.5	360.6
参考：作況平年値 (きたろまん)	40.1	9.8	69.2		334.9

③ 収量調査

品種	子実重 (kg/10a)	製品収量 (kg/10a)	百粒重 (g)	屑粒率 (%)	倒伏 程度	品質
十育 170 号	309.0	295.0	21.6	4.3	少	2等
参考：前年 170 号	363.0	317.0	15.4	12.7	微	2等

5. 考察

本年は出芽や初期生育がおおむね良好で、その後の生育や登熟も順調に推移した。
夏場の高温多雨により徒長傾向で倒伏がやや多かったが、病害虫の発生が少なく、
製品収量は高く、品質も良好で「十育 170 号」はかなり有望と判断される。

○生育経過



初生葉展開期 6.15



開花期前 7.13



生育中盤 7.28



生育後半 8.24



左 きたろまん 右 十育170号